

傷害見舞金給付表

A 頭部外傷

- | | | |
|--|-------|------|
| 1. 脳振盪(しんとう)/脳振盪の疑いでCT、MRI検査を受け、かつ脳振盪/脳振盪の疑い報告書・
復帰証明書を提出したもの | (10級) | 2万円 |
| 2. 頭蓋骨骨折をしたもの | (10級) | 2万円 |
| 3. 穿頭術、頭蓋骨形成術を受けたもの | (6級) | 10万円 |
| 4. 頭蓋内血腫、脳挫傷がCTにて診断され、7日以上入院したもの | (9級) | 3万円 |
| 5. 頭蓋内血腫、脳挫傷がCTにて診断され、14日以上入院したもの | (8級) | 5万円 |
| 6. 頭蓋内血腫、脳挫傷などにより開頭術を受けたもの | (4級) | 30万円 |
| 7. 鼓膜破裂で手術を受けたもの | (10級) | 2万円 |
| 8. 下記(1)～(8)の障害を残すもの | | |

(1) けいれん、めまい、及び頑固な頭痛などの神経症状が60日以上 持続し薬物を常用せざるをえないもの	(6級)	10万円
(2) 複視、視野狭窄、難聴などの局所に頑固な神経症状が60日以上 持続し日常生活に不便を有するもの	(6級)	10万円
(3) 四肢のうち、いずれか1肢の運動麻痺が60日以上続くもの	(4級)	30万円
(4) " " 180日以上続くもの	(3級)	50万円
(5) 半身、両上肢または両下肢の運動麻痺が60日以上続くもの	(3級)	50万円
(6) " " 180日以上続くもの	(2級)	80万円
(7) 意識障害、四肢麻痺で60日以上寝たきりの状態のもの	(2級)	80万円
(8) " " 180日以上寝たきりの状態のもの	(1級)	150万円
(注) 障害を残すものは1.～7.の外傷に加算して給付される。障害については(1)～(7)の 項で既に支給された金額を差し引いて支給する。		

B 顔面の損傷

- | | | |
|----------------------------|-------|-----|
| 1. 顔面骨 | | |
| (1) 頬骨、頬骨弓、鼻骨骨折、眼窩底骨折したもの | (11級) | 1万円 |
| (2) 鼻骨骨折で非観血的整復したもの | (10級) | 2万円 |
| (3) 頬骨弓、鼻骨骨折で観血的手術を受けたもの | (9級) | 3万円 |
| (4) 眼窩底骨折、頬骨骨折で観血的手術を受けたもの | (9級) | 3万円 |
| 2. 上顎骨骨折 | | |
| (1) 上顎骨骨折したもの | (11級) | 1万円 |
| (2) 顎間固定を受けたもの | (8級) | 5万円 |
| (3) 観血的手術を受けたもの | (8級) | 5万円 |
| 3. 下顎骨骨折 | | |
| (1) 下顎骨骨折したもの | (11級) | 1万円 |
| (2) 顎間固定を受けたもの | (8級) | 5万円 |
| (3) 観血的手術を受けたもの | (8級) | 5万円 |
| 4. 眼の損傷 | | |
| (1) 眼科にて手術を受けたもの | (10級) | 2万円 |
| (2) 網膜剥離で手術を受けたもの | (9級) | 3万円 |

F	鎖骨骨折、肩甲骨骨折、肩鎖関節脱臼、胸鎖関節脱臼			
	1.	肩鎖関節、胸鎖関節を脱臼したもの	(11 級)	1 万円
	2.	鎖骨、肩甲骨を骨折したもの	(11 級)	1 万円
	3.	手術を受けたもの	(9 級)	3 万円
G	肩関節の損傷、肩関節脱臼			
	1.	肩関節を脱臼したもの（習慣性を除く）	(11 級)	1 万円
	2.	麻酔下で整復したもの	(10 級)	2 万円
	3.	関節鏡検査の結果処置を受けたもの	(10 級)	2 万円
	4.	修復・再建手術を受けたもの	(9 級)	3 万円
H	上腕の損傷			
	1.	骨折したもの	(11 級)	1 万円
	2.	手術を受けたもの	(9 級)	3 万円
	3.	神経麻痺が 90 日以上残ったもの	(9 級)	3 万円
I	肘関節の損傷			
	1.	骨折・脱臼・側副靭帯断裂したもの	(11 級)	1 万円
	2.	手術を受けたもの	(9 級)	3 万円
	3.	上腕切断術を受けたもの	(3 級)	50 万円
	4.	神経麻痺が 90 日以上残ったもの	(9 級)	3 万円
J	前腕の損傷			
	1.	骨折したもの	(11 級)	1 万円
	2.	手術を受けたもの	(9 級)	3 万円
	3.	前腕切断術を受けたもの	(4 級)	30 万円
K	手の損傷			
	1.	手根骨、中手骨、指骨の骨折をしたもの	(11 級)	1 万円
	2.	手根骨、中手骨、指骨の骨折で手術したもの	(10 級)	2 万円
	3.	何れかの指関節の脱臼・靭帯・腱損傷で手術したもの	(10 級)	2 万円
	4.	腱断裂で手術したもの（伸筋腱を除く）	(9 級)	3 万円
L	胸部の損傷			
	1.	二本以上の肋骨骨折、胸骨骨折したもの	(11 級)	1 万円
	2.	肋骨骨折に気胸・血胸を合併したもの	(10 級)	2 万円
	3.	気胸・血胸などを合併し開胸術を受けたもの	(6 級)	10 万円

M	腹部臓器、辜丸などの損傷		
	1. 通院治療を受けたもの	(11 級)	1 万円
	2. 5 日以上入院加療を受けたもの	(10 級)	2 万円
	3. 血管塞栓術を受けたもの	(9 級)	3 万円
	4. 腹部臓器の手術を受けたもの	(8 級)	5 万円
	5. 臓器摘出術を受けたもの	(6 級)	10 万円
	6. 辜丸の手術を受けたもの	(9 級)	3 万円
	7. 辜丸の摘出をしたもの	(6 級)	10 万円
N	骨盤・大腿部の損傷		
	1. 股関節脱臼を麻酔下で徒手整復を受けたもの	(10 級)	2 万円
	2. 骨折したもの	(11 級)	1 万円
	3. 大腿骨の手術を受けたもの	(9 級)	3 万円
	4. 骨盤の手術を受けたもの	(8 級)	5 万円
	5. 大腿切断術を受けたもの	(3 級)	50 万円
O	膝関節の損傷		
	1. 内側・外側側副靭帯、半月板、膝蓋腱を損傷したもの	(11 級)	1 万円
	2. 前十字靭帯または後十字靭帯を損傷したもの	(10 級)	2 万円
	3. 前十字と後十字靭帯との合併損傷を受けたもの	(9 級)	3 万円
	4. 関節鏡検査を受けたもの	(11 級)	1 万円
	5. 半月板損傷で鏡視下手術を受けたもの	(10 級)	2 万円
	6. 内・外側副靭帯または半月板を損傷し手術を受けたもの	(9 級)	3 万円
	7. 前十字靭帯を損傷し手術を受けたもの	(9 級)	3 万円
	8. 後十字靭帯を損傷し手術を受けたもの	(9 級)	3 万円
	9. 十字靭帯と側副靭帯と半月板の合併損傷で再建手術を受けたもの	(8 級)	5 万円
P	膝蓋骨の損傷		
	1. 骨折したもの	(11 級)	1 万円
	2. 骨折・脱臼で手術したもの	(9 級)	3 万円
Q	下腿の損傷		
	1. コンパートメント症候群で手術したもの	(10 級)	2 万円
	2. 腓骨骨幹部を骨折したもの	(11 級)	1 万円
	3. 腓骨骨幹部骨折で手術したもの	(9 級)	3 万円
	4. 脛骨骨幹部を骨折したもの	(11 級)	1 万円
	5. 脛骨骨幹部骨折で手術したもの	(9 級)	3 万円
	6. 下腿切断術を受けたもの	(6 級)	30 万円
	7. アキレス腱断裂したもの	(11 級)	1 万円
	8. アキレス腱断裂で手術したもの	(9 級)	3 万円
	9. 腓骨神経麻痺が 90 日以上続くもの	(9 級)	3 万円

R 足関節・足の損傷

- | | | |
|----------------------------|-------|-----|
| 1. 靭帯損傷で手術を受けたもの | (10級) | 2万円 |
| 2. 内果または外果骨折したもの・骨端線離開したもの | (11級) | 1万円 |
| 3. 内果または外果骨折で手術したもの | (9級) | 3万円 |
| 4. 骨折・靭帯ともに手術したもの | (9級) | 3万円 |
| 5. 足根骨・中足骨、趾骨骨折したもの | (11級) | 1万円 |
| 6. 足根骨・中足骨、趾骨骨折で手術したもの | (10級) | 2万円 |
| 7. 踵骨骨折したもの | (11級) | 1万円 |
| 8. 踵骨骨折で手術したもの | (9級) | 3万円 |

S その他

- | | | |
|-----------------------------|------|------|
| 1. 熱中症などの疾患で15日以上入院加療を受けたもの | (6級) | 10万円 |
|-----------------------------|------|------|

T 死亡例

特級 200万円

【注】

- (1) 同一等級の重複傷害または障害を有するものは1級繰り上げる。
- (2) 異なる等級の重複傷害または障害を有するものは高位の等級とする。
- (3) 同一等級の重複の障害は1級を限度とする。
- (4) A 頭部外傷、E 脊髄の損傷で「障害を残すもの」は重複支給しない。
- (5) 同一疾患における分割手術または再手術は高位等級のもので1回給付のみとする。
- (6) 委員会で審査の結果、見舞金給付の対象外となったものは、5000円を支給する。
- (7) 上記項目以外で見舞金給付に相当すると思われるものには三地域審査委員会で審査し日本協会へ報告する。

この給付表は、平成27年4月1日より施行する。